

日韓欧首長サミット

セッション3

「インターナショナルな社会統合一理念から政策へー」

モデレーター	明治大学教授 山脇啓造
コメンテーター	欧洲評議会 ICC プロジェクトマネージャー イレーナ・ギディコヴァ
事例発表者	浜松市長 鈴木康友【日本】
	天安市副市長 イ・ソンホ【韓国】
	ダブリン市長 ニーツェ・オ・ムイリー【アイルランド】

多文化共生都市・浜松の創造 ～理念から政策、実践へ～



日韓欧多文化共生都市サミット2012浜松

浜松市 HAMAMATSU CITY



1

City of Industry



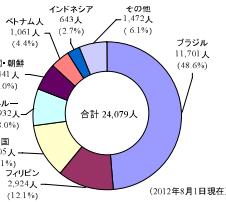
2

日韓欧多文化共生都市サミット2012浜松

浜松市 HAMAMATSU CITY

在住外国人数

国籍別内訳



在留資格別内訳



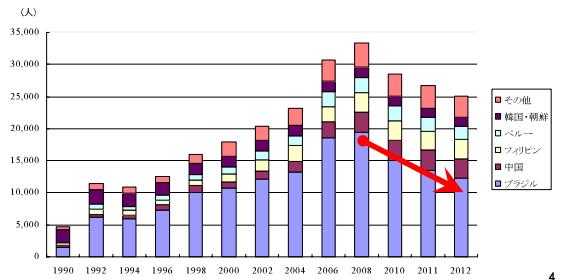
3

日韓欧多文化共生都市サミット2012浜松

浜松市 HAMAMATSU CITY

在住外国人数

推移



日韓欧多文化共生都市サミット2012浜松

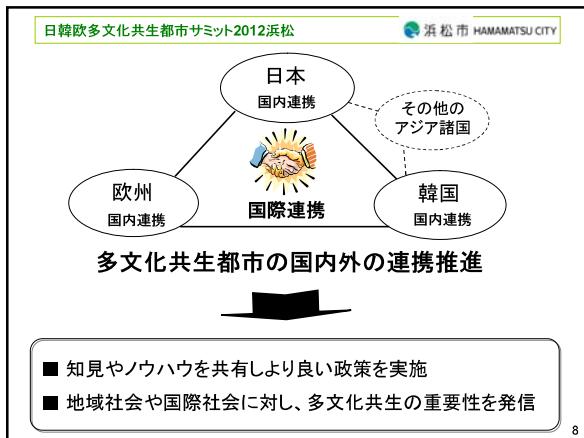
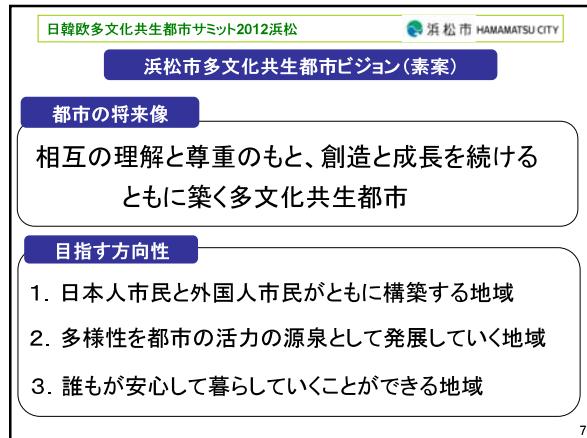
浜松市 HAMAMATSU CITY

浜松市多文化共生センター



浜松市外国人学習支援センター

5



FAST CHEONAN 天下大安の地 天安!

天安市多文化社会統合事業 [分かち合い奉仕団]

시민 삶의 질
세계 100대 도시 천안

天安市
CHEONAN-CITY

I. 天安市の紹介

忠清南道の首府都市

- 天安(천안) = 空の下で最も穏やかな都市
- 国土の中核都市として全国最高の交通の要衝
- 人口: 60万人
- 面積: 636.25km²
- 予算: 1兆 1,950億ウォン
- 公務員数: 1,807名

I. 天安市の紹介

都市ブランド

- F → First ナンバーワンの都市・天安
- A → Abundant 豊かな都市・天安
- S → Satisfied 満足な都市・天安
- T → Technologic 先端技術の都市・天安

FAST CHEONAN

II. 外国人住民の現況

外国人住民年齢別推移

年	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
[単位: 年、名]	6,864	8,839	10,237	12,445	13,195	14,994	19,028

外国人住民国籍別現況

国籍	割合
中国(韓国系を含む)	52%
ベトナム	14%
日本	11%
フィリピン	4%
インドネシア	4%
カナダ	4%
その他	4%

外国人住民目的別現況

目的	割合
労働者	20%
結婚移住者	17%
留学生	13%
在外公民	13%
その他	33%

III. 多文化家族支援センター

多文化家族支援センター

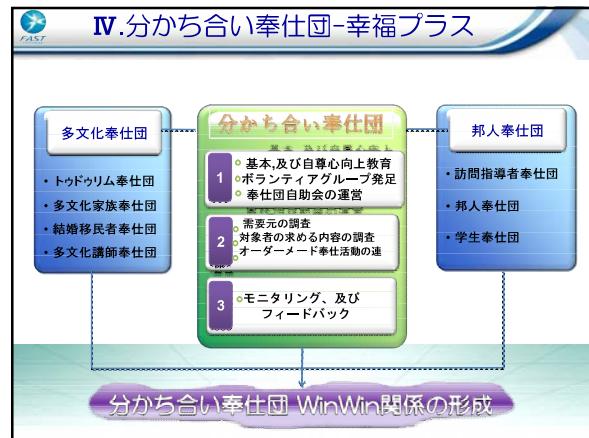
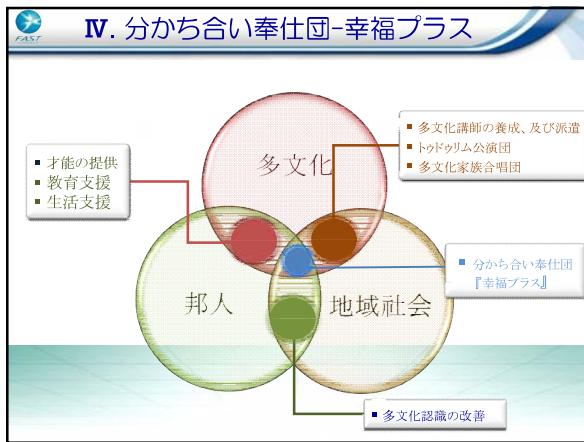
建設日: 2009.7.1
延べ面積: 330.92 m²
職員現況: センター長1人、六員、職員
天安市の多文化子育懇談会運営委員会
多文化センター下算懇談会運営委員会

III. 多文化家族支援センター

天安市
CHEONAN-CITY

- 訪問教育 (Home Visiting Education)
- 韓国語教育 (Korean Language Education)
- 言語英才教育 (Language Talented Education)
- 言語発達支援事業 (Language Development Support Program)
- 就業教育 (Employment Education)
- 韓国文化教育 (Korean Culture Education)
- 通訳翻訳サービス (Interpretation and Translation Services)
- 認識改善事業 (Cognition Improvement Program)
- 機関連合会 (Institutional Cooperation Conference)
- 奉仕団運営 (Volunteer Team Operation)
- 相談事例管理 (Consultation Case Management)

市民生活の質 世界100大都市 天安



V. 分かち合い奉仕団活動の効果

NAUMBONGSA-DAN & VOLUNTEER WORKERS GRADUATION CEREMONY

★ 地域社会への所属感増進
★ 自己肯定感の向上

多文化
分かち合い奉仕団
『幸福プラス』
邦人 *地域社会
★ 多文化への理解増進基盤の構築

安定的な定着、及び効率的な社会統合





プレゼンテーション内容:

- アイルランドとダブリンの概要
- 社会統合のコンセプトの初期開発
- 内外における支援の結集
- 複数の部門にまたがる調整
- 社会統合戦略
- 課題
- 結果と進化

Dublin City
Baile Átha Cliath

アイルランドの経験:

- 変化する情勢と社会の課題
- 世俗化 / 資本主義 / アイデンティティーの変化
- 成長著しいアイルランド — 好況
- EUの拡大
- 移民
- 反応
- 近年の課題

Dublin City
Baile Átha Cliath

社会統合に関するコンセプトの初期開発

2006年の国勢調査によりアイルランドやダブリンが変容していることが明らかになった。
移民や移動性、移民集中に関する統計
2006年から構想を立案。そして企画と行動
ステークホルダーの存在
国際的な学び
社会統合に関するビジョン

Dublin City
Baile Átha Cliath

Source: CSO Census 2006, Volume 4 Usual Residence, Migration, Birthplaces and Nationalities, Table 35.

Chart 3 | ダブリン市の国籍別割合

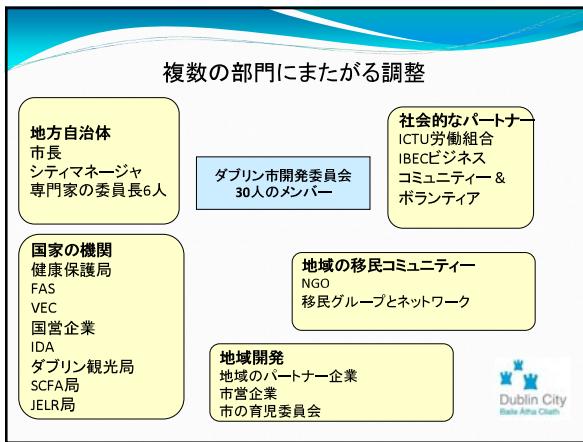
エリア	アイルランド シード%	米国%	ポーランド %	リトアニア %	他のEU25 %	出島の会 他の地 域の%	不詳 %	移民 %
ダブリン都心	86.7	2	1.6	0.7	2.4	5.2	1.4	11.0
ダブリン市	82.7	1.69	2.18	0.54	3.6	7.1	2.2	15.1
全国	88.8	2.7	1.5	0.6	1.8	3.5	1.1	10.1

Dublin City
Baile Átha Cliath

内外で支援を結集する

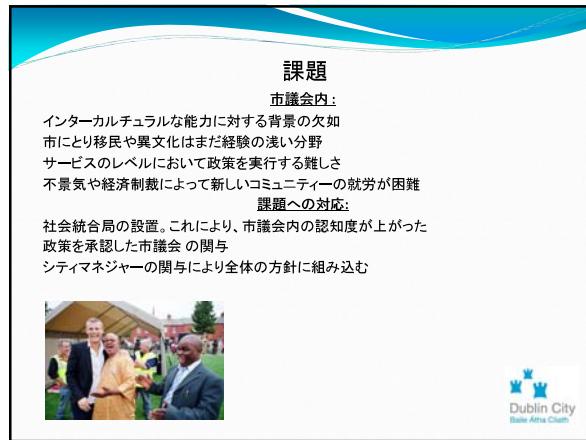
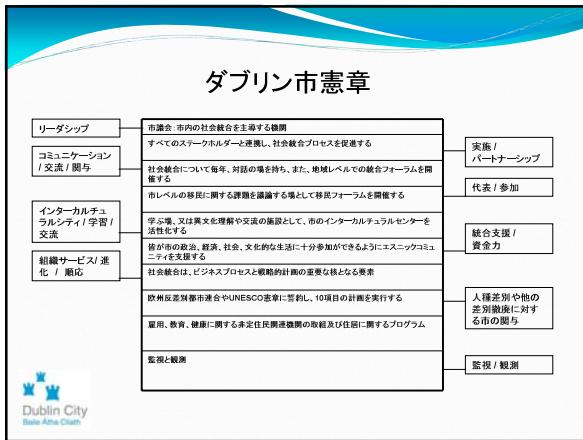
- 2006年にいたステークホルダー: 移民グループ、NCCR、NCP、MRCI、ICI
- 90年代のネガティブメディアを乗り越える: 難民 / 希臘コンセプトの傾向
- 激しい反人種差別運動
- 有機的なアプローチ: 自由 - パートナーすべてを包含する - 関係重視
- 地方議会のモデルによって推進されている - 幹部により推進されている政策
- 議会内で他の部門との関係を深め、外部においては国家の機関やNGOとの関係を深める
- 関係者全員を含むプロセス

Dublin City
Baile Átha Cliath



ビジョン: ダブリンはおもてなしの都市で、市民やコミュニティのために信頼、理解、擁護を創り出します。ダブリンは意識的に多様性を歓迎する都市です。政策フレームは、初めて移民の背景やダブリンへの定住パターンを概説しました。このビジョンは、市レベルのパートナーやステークホルダー、特に公的サービスの供給者が、社会統合を自分のこととして捉えるとともに、情報やサービスへのアクセスに対して市の新しく多様性のある実態を考慮し、組織やビジネスのプロセスを見直し順応させることを促進するものです。情報と研究を統合し、進化する国家政策や欧州の社会統合に関する原則や移民受入の歴史のある都市の経験を参考にした。情報やサービス、進化の障害となる問題を共有し、政策フレームと行動規範を打ち出した。

Dublin City
Bally Atha Chath



課題

市議会外:

各種団体は、インターナショナルな能力に対する背景が欠如している
ダブリン市議会は、健康や教育、警察などの予算に関与できなかった
NGOや移民グループがよく自治体にロビー活動を行った
変化のスピードに関する課題: 差別 / 低い教育水準

課題への対応:

社会統合局が他との窓口になった。
市は、すべてのパートナーと連携するためリーダーシップを發揮し、皆と一緒に
参加するという意思形成を図った。健康や教育、警察との連携で、多様性のある政策
が策定されています。



Dublin City
Bain Átha Cliath

課題に対応するための成功事例

- 移民が選挙できる地方選挙のキャンペーン
- 移民の選挙権を促進するためのキャンペーン(25カ国語)



Dublin City
Bain Átha Cliath

課題に対応するための成功事例

- 異教徒間のフォーラム:
- 新しい政府の下: 国籍取得プロセスの
加速



Dublin City
Bain Átha Cliath

課題に対応するための成功事例

- 多様性アドバンテージ:



Dublin City
Bain Átha Cliath

- ダブリンは、世界で最も人的資本に恵まれている都市に選ばれた
- 欧州の中でも最も平均年齢の低い国であるため、世界中で最も生産年齢構成のバランスの良い国といえる
- アイルランドの大学の卒業生は、世界中で最も雇用適正があるとされている
- アイルランド人は、強い企業家意識がある
- ダブリンは、特にテクノロジーの分野において就職やビザ取得、移民の保持において世界で最も優れている都市である
- ヨーロッパの中で、英語圏の国はアイルランドだけである
- Google, Facebook, Intel, IBM, Microsoft, Appleの欧州本部が置かれている

戦略の進化

- 移民や文化プロジェクト、OFIの開発
- ダブリン市がインターナショナルシティネットワークに加盟
- アイルランドがEU議長国である間にダブリンでインターナショナルシティの会議を開催(2013年2月)



Dublin City
Bain Átha Cliath

戦略の進化

- 文化フェスティバルの開発
- ダブリン旧正月フェスティバル www.cny.ie
- 日本体験 www.experiencejapan.ie
- アフリカ・デー www.africaday.ie



experience
Japan
Enjoy Hanami with the Dublin Japanese community at Farmleigh House

Dublin City
Bain Átha Cliath

重要なキャンペーン「1つの市、1つの市民」

「1つの市、1人の人間
ダブリンは、人種差別や他の差別を受け入れない」

この取組はダブリン市議会の社会統合局が推進しています。毎年、秋に市内の交通機関に広告キャンペーンを展開するとともに、市内で会議やセミナー、展示会、ワークショップ、フォーラム、スポーツ、芸術、音楽、文化のイベントを行います。すべてのイベントは、市民がダブリンでの生活への積極的な貢献を促進し、また、ダブリンが人種差別や他の差別を受け入れないことをはっきりと発信しています。

<http://www.dublin.ie/onecity>

Dublin City
Báile Átha Cliath

コンファレンス
1つの市、1つの市民
社会統合: 次の十年

Wood Quay 会場、ダブリン市議会
2010年9月24日(金)

www.dublin.ie/onecity

Dublin City
Báile Átha Cliath

新しいプロジェクト

Vox Pol: ダブリン市立大学は、インターネットで暴力的な過激主義の拡大を研究するため500万ユーロの助成を受けた。ネオナチズムや国家分離主義者、聖職を行なう人等のインターネットにおける活動を調べ、必要な対応を立案する。また、暴力的なオンライン政治過激主義を研究する仮想センターを開発。

研究室長マウラ・コンウェー教授:
「VOX-Polの目標は、暴力的なオンライン政治過激主義の種類、または社会へ影響や対応を調査すること。暴力的な政治過激主義者は、インターネットを利用し、以前よりも多くの人に影響を及ぼすことができる」と考えている。こういう本質的な研究は、まだ比較的新しいが、多くの研究者がそれぞれの目的を目指している。しかし、VOX-Polはこの問題に対応するにあたり、研究者を集め、一緒に暴力的な政治過激主義とインターネットの接点から出てくる新しい問題を調査する。」
ドイツ、ハンガリー、インド、オランダ、英国、米国からのパートナー研究所と共同してこのプロジェクトを行う。

Dublin City
Báile Átha Cliath

連絡先

社会統合局:
ジェリー・フォーラン / デクラン・ヘーデン /
デーブ・オ・ドノバン:
メール: integration@dublincity.ie
フェースブック: Intercultural Dublin
電話番号: 01-2225091

Dublin City
Báile Átha Cliath